## 第1章 江戸川区の「発達障害支援」の流れ

## 1 発達障害をめぐる状況

発達障害は、他の障害と比べて外から見えにくく、支援が届きにくいと言われています。しかし、平成 17年4月の発達障害者支援法施行以降、発達障害者に対する支援は着実に進展し、社会における理解も広がってきました。その後、施行から 10年以上が経過し、乳幼児期から高齢期まで切れ目のない支援など、よりきめ細かな支援の充実を図るため、平成 28年8月には発達障害者支援法が改正されました。本区では、平成 24年7月に発達障害者(児)のライフステージに応じた支援の方向性を示す「『発達障害』に関する支援方針」を策定し、支援の充実を図ってきました。さらに、継続した支援、関係機関との緊密な連携強化、発達障害に関する普及啓発事業の推進を目的に、平成 26年7月には発達障害相談センターを開設しました。

その後、相談事業と療育を一体的に行うとともに、乳幼児期から成人期まで切れ目のない支援を行うことができるよう、令和2年4月に発達障害相談センター機能と児童発達支援センター機能を兼ね備えた発達相談・支援センターを開設しました。地域の中核的な発達支援拠点の拡充も進められ、令和4年4月には江戸川区篠崎児童発達支援センターが、令和6年4月には葛西児童発達支援センターが開設されました。令和7年度においても、これらの拠点を中心に、地域全体で発達障害のある方への継続的かつ総合的な支援体制の強化を図っていきます。

## 発達障害支援の流れ 2

乳幼児期

幼

稚園

保育園

小学校

中学校

早期発見 相談 支 援

【健康サポートセンターの健診事業】

〇1歳6か月児歯科健康診査時 「発達に関する質問票(日本語版 M-

CHAT 短縮版 8 項目)」

【必要時】

- · 個別相談(心理相談員)
- ・集団指導

【気になる子の発見・

支援のための事業】

- 〇乳幼児施設等巡回支援事業 (区・私立保育園・私立幼稚園 小規模保育所·認証保育所等)
- 〇専門家チーム派遣 (区立幼稚園)
- 〇スクールソーシャルワーカー派遣 (区立幼稚園)
- 〇保育園発達支援コーディネーター配置 (区・私立保育園)

## 【各学校の対応】

- 〇特別支援教育コーディネーター(全校配置)
- 〇スクールカウンセラー派遣(全校配置)
- 〇校内委員会の実施

【学務課相談係】

- 〇就学相談
- ○専門家チーム派遣

(区立小・中学校)

【教育相談センター】

- ○教育相談室の開設 (グリーンパレス教育相談室、 西葛西教育相談室、南篠崎教育 相談室)
- 遣(全校巡回)

【児童発達支援センター】

- ◆江戸川区発達相談・支援センター内 児童発達支援センター
- 1歳6か月児~就学前
- 〇障害児相談支援
- 〇個別療育

【児童

相

談

所

は

あとポ

上

子どもに

.関

する

あ らゆ

る

相

- 〇集団療育
- 〇保育所等訪問支援
- ◆江戸川区篠崎児童発達支援センター
- ◆江戸川区葛西児童発達支援センター
- 1歳6か月児~就学前
- 〇障害児相談支援
- 〇児童発達支援
- (個別療育、集団療育)
- 〇保育所等訪問支援

【区立事業所:育成室】

- 1歳6か月児~就学前
- 〇個別療育
- 〇集団療育

〇エンカレッジルームの設置

〇全小学校(65 校)

全中学校(32 校)

特別支援教室での巡回指導

(民間事業所) 放課後等デイサービス

民間

事

業所】

児童発達支援

〇スクールソーシャルワーカー派

【健康サポートセンター】

〇保健師による相談

(江戸川区発達相談・支援センタ―内)

【障害者就労支援センター】

〇就労相談•支援

【地域活動支援センター I 型】

〇相談

〇就労支援(センターえどがわ、センターかさい、センター こまつがわ、センターさんかく、センターこいわにて、精 神障害者就労支援事業を実施)

青年期以降